

# 葛塚市と歩んできたまち

## 河川交通の要所—葛塚—

葛塚は、新井郷川による物流の集積地で、約250年前に葛塚市が開かれて以来、地域経済の中心として発展しました。

下の写真は江戸時代に描かれた「下興野新田絵図」(市指定文化財)です。町並みができ始めたばかりの様子が描かれています。

現在の葛塚地区は、この江戸時代の絵図に描かれた道や神社を残しながら、新しい住宅・道路がつくられています。

葛塚市とともに歩んできた葛塚地区を紹介します。

## 葛塚市が開かれるまで

水原や新発田の市場まで買い物に行かなければならなかったころは、市場を開くことが、葛塚の人々にとっての悲願でした。1761(宝暦11)年旧暦10月8日に、5年越しの願いがようやく叶い、水原代官所を通じて幕府の許可が下り、葛塚市が開設されることになりました。葛塚市は、

1957(昭和32)年まで本町通りで開かれていましたが、今は常盤町に移り、約120店が出店しています。

## 葛塚市をきっかけに

市場が開かれた日を記念して始まった石動神社と稲荷神社のお祭りは、現在「葛塚まつり」へと受けつがれています。許可が出た日を忘れないために、現在も毎年9月8日にまつりが行われています。

まつりで稲荷神社に奉納される「他門の神楽」は、市場開設の許可が下りた日、水原代官所からの帰り道で嬉しさのあまり人々がサン儀(サンバイシ)を頭にのせて神楽を舞いながら葛塚に帰ってきたのが始まりと伝えられています。

また、稲荷神社境内にある開市神社は、市場開設に力を尽くした庄屋 遠藤七郎左衛門宗寿など遠藤家の人々がまつられています。



▲1733(享保18)年の葛塚 下興野新田絵図(市指定文化財)より



# 北区の主な祭り・芸能

北区では、さまざまな祭りが開催され、神楽舞などの芸能は地域の人々によって長く守り伝えられています。みなさんも出かけてみませんか！

日時	祭り・芸能の名称	場所	備考
4月9日夜・8月27日夜	新崎いざや神楽	諏訪神社(新崎)	
4月17日夜・9月17日夜	内島見の神楽	神明宮(内島見)	市指定無形民俗文化財
5月9日午後・10月9日午後	高森いざや神楽	稲荷神社・薬師堂(高森)	市指定無形民俗文化財
7月14日夜	大日堂の灯ろう押し	大日堂(長戸呂)	
8月第3土曜・日曜	早通ふるさと祭り	JR早通駅前など	
8月第3土曜夜	長場の神楽	神明宮(長場)	市指定無形民俗文化財
8月24~25日	松浜まつり	稲荷神社・本町商店街(松浜)など	
8月25日夜	阿賀野川ござれや花火	阿賀野川河川敷(松浜)	
9月5日夜	民謡流し	JR豊栄駅前通り	
9月6~8日(灯ろうの押し合いは8日夜)	葛塚まつり	石動神社・稲荷神社(葛塚)	
9月6日夜	正尺の神楽	石動神社(葛塚)	市指定無形民俗文化財
9月7日夜・8日夜	他門の神楽	稲荷神社(葛塚)	市指定無形民俗文化財
不定期	内沼獅子舞	内沼神社	市指定無形民俗文化財
不定期	嘉山の神楽	日吉神社(嘉山)	市指定無形民俗文化財
不定期	葛塚盆踊り		市指定無形民俗文化財
不定期	松浜盆踊り太鼓		
不定期	松浜太鼓		